



福井県立大学
Fukui Prefectural University

Faculty of
Dinosaur
Paleontology

恐竜
学部

恐竜・地質学科

Department of Dinosaur Paleontology
and Geology

2025年4月開設



勝山キャンパス
イメージ図 (福井県提供)

恐竜学部



アドミッションポリシー

- 自然科学に興味を持ち、これに関する研究分野におけるフィールド活動に関心・意欲がある。
- 多様な自然界の現象に対して科学的探究心を持ち、課題解決に向けて自分の意見を表現できる。
- 自然科学を学ぶ上での理科・数学および国際化・情報化社会に対応するための外国語・情報科学の基礎を身につけている。
- 積極的かつ自主的な学習姿勢を持ち、他者との協働作業などを意欲的に取り組むことができる。

01 福井県立恐竜博物館との連携

「恐竜学部」設置に伴い開設予定の勝山キャンパスは恐竜博物館に隣接するため、施設の相互利用などを通じた物的資源の連携や、研究員・学芸員による講義や助言等の人的資源の共有を行い、博物館と一体化した新しい教育・研究システムを目指します。

02

フィールド科学の実践

古生物学や地質学を含む地球科学では、地層や岩石に記録されている情報を現場で読み解き、論理的に考察しなければならないため、フィールドワークにおける現場での地層や岩石、地形の観察を重視します。福井県には、古生代～新生代までの地質遺産が分布しており、身近な自然の中でのフィールドワークが可能です。また、県内だけでなく県外や海外へも視野を広げ、思考力や判断力、情報収集のスキルを学びます。

カリキュラム の特色

03

デジタル技術を活用した 新分野の展開

「恐竜学部」では、従来行われてきた古生物及び地質調査研究を行うだけでなく、最新のデジタル技術を活用し、古生物学・地質学をさらに発展させていきます。大型CT撮影装置をはじめとした機器を使用し、多様な形や大きさの化石や地形をデジタル化し、それらのデータを活用した新しい教育・研究を行います。

学部長予定者あいさつ

地球温暖化による自然災害など現代社会の地球科学諸問題は、地球史において繰り返し起こっている自然現象です。地球の歴史を知ることは、我々の未来を予測することにつながり、人類社会の持続性に関係しています。

福井県は30年以上にわたり恐竜化石発掘・研究を推進し、恐竜時代の環境解明を行っています。さらに水月湖の年縞や東尋坊など日本列島形成史を物語る地質遺産もあり、地球の歴史を知ることができる重要な場所です。このような恵まれた環境を活かし、恐竜を含む古生物や地質学を学ぶことができる「恐竜学部」を設置します。



西 弘嗣 教授 (理学博士)

4年間の学習の流れ

1年次

多様な教養科目と地球科学の基礎を学ぶ

文理横断的に幅広い知識を身につけ、物事を多面的に考え行動できる能力を身につけます。

【科目例】
脊椎動物の進化、地球史入門、地球環境学概論、恐竜学、地球科学フィールド実習Ⅰ、古生物学概論など

2年次

専門基礎知識と調査研究手法を修得する

恐竜をはじめとした古生物学や地質学・古環境学に関する専門基礎科目を中心に学び、専門知識と調査研究手法を修得します。

【科目例】
進化生物学、古生物学Ⅰ(脊椎動物)、地質調査法実習Ⅰ、ジオパーク学、恐竜学特論、デジタル古生物学概論など

3年次

より高度な専門知識と技術を身につける

2つのコースに分かれ、少人数で専門応用科目を学びます。また、実験や実習、フィールドワークを通して課題解決能力や、表現力、思考力、コミュニケーション能力を修得します。

【科目例】
コンピュータグラフィック概論、古植物学、恐竜発掘実習、古生物学課題演習、地質学課題演習など

4年次

卒業研究を行い研究結果を執筆・発表する

これまでに修得した専門知識・技術を基に、担当教員の個別指導を通して、研究計画を実践し、成果を執筆発表する能力を身につけます。

【科目例】
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、博物館実習

Pickup Class

恐竜発掘実習

担当教員 服部 創紀



恐竜化石の発掘方法や、発見される化石の状態は、場所によって大きく異なります。さまざまな発掘現場を知ることで、多様な実践的なスキルを身につけるだけでなく、新たな研究テーマにつながる発見が期待できます。この実習では、タイ王国の発掘現場における調査方法や化石の産出状況を体験するとともに、現地の研究者や学生との交流を通じて、多角的な研究能力および国際的な視野を養います。

恐竜学特論

担当教員 柴田 正輝



恐竜の生物学的側面を理解するため、最近の研究事例を元にして、日々進展する恐竜に関する知見を掘り下げて学修します。恐竜の骨格形態や分類、生態についての研究手法・成果を学び、研究を企画する力を身につけることを目標としています。また、将来研究を深めていくためには、国際的視野を持つ必要があります。そのため、英語の文献を利用し専門用語に慣れるとともに、オンラインで外国人研究者による講義を取り入れ、国際性を養います。

デジタル古生物学概論

担当教員 河部 壮一郎



古生物学研究の新たな可能性を拓くためのデジタル技術を体系的に学ぶための入門授業です。X線CTスキャンなどの3Dスキャンや、3Dプリンティングといった最先端の技術の原理や応用例を学び、化石データを収集・解析し、その形態や内部構造を研究するための基礎知識と実践力を養います。また、「デジタル古生物学研究法実習」(別科目)を通して実践的なスキルを身につけます。

地質調査法実習Ⅰ

担当教員 安藤 寿男



野外でどんな時代のどんな地層や岩石が露出し、それらがどのように形成されてそこにあるのかを調べるための、地質調査法を学びます。野外の歩き方、露頭観察の仕方、調査結果をフィールドノートに記載して地図に記録し、野外調査データを地質図や地質調査報告にまとめていく、フィールドワークの基礎を修得します。室内作業(準備やまとめ)と野外での調査を組合せた実践的な実習科目です。

想定される進路

卒業後は、古生物学や地質学を中心とした地球科学の専門知識を活かして、以下のような幅広い業種で業務に従事することが想定されます。

- 博物館学芸員、研究者、教員(理科)
- 公務員(土木)
- 地質・土木・建設産業
- 環境アセスメント産業
- ジオパークなど自然科学関連の観光業
- IT関連産業(測量に関する地質系のデジタル技術産業など)
- 大学院進学

取得可能な資格

所定の単位習得(選択制)により、下記の免許・資格が取得できます。

- 高等学校教諭一種免許状(理科)(予定)
- 測量士補
- 学芸員

学部概要

学部・学科名称	恐竜学部 恐竜・地質学科	入学定員	30名 (収容定員120名)
開設時期	2025年(令和7年)4月	修業年限	4年
開設場所	1年次 (永平寺キャンパス) 2年次～ (勝山キャンパス)	取得学位	学士(理学)

キャンパス / アクセス



永平寺キャンパス (1年次)

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1



福井駅西口バスターミナルから
京福バス 大学病院線「県立大学」下車
(所要時間約40分)



福井駅前より約20分 または
北陸自動車道 福井北ICより約10分



勝山キャンパス (2年次～)

〒911-0025 福井県勝山市村岡町五本寺 17-15



福井駅東口から、えちぜん鉄道勝山永平寺線
へ乗車後、「勝山駅」にて下車し、バスまたは
タクシーを利用
(所要時間約1時間15分)



福井駅前より約50分 または
中部縦貫自動車道 勝山ICより約10分



福井県立大学 経営企画部 恐竜学部開設準備室
〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1
TEL 0776-61-6000 (代) FAX 0776-61-6011
E-mail : shingakubu@fpu.ac.jp

恐竜学部の入試情報は
こちらからご確認ください。
<https://www.fpu-dinosaur.com/>

